



2018年7月2日
聖心女子学院初等科
校長 大山 江理子
7月号

「今」をしっかりと取り組む 聖フィリピンと共に 校長 Sr.大山 江理子



梅雨が明け、夏休みが待ち遠しい頃となりました。7月は春からの学校生活をふり振り返り、これまでの歩みを味わい直します。聖フィリピンと共にどのような学びがあったのでしょうか。

6月の聖心だよりで、聖フィリピンはことばより行いの人と考えてきましたが、その後、聖フィリピンのことばがみつかりました。信仰に根ざした、信念の人らしいことばです。一例をあげてみると、「過去へと

後ろ向きになってはいけません。未来へと前のめりになってもいけません。今だけを大切にしてください。そこに神の思いがあるからです」と、今この時をしっかりと生きようと説いています。また、「明日のことを心配しすぎる人以外には、いかなる困難ありません」とも語っています。たとえそれほど重荷に感じられても、「今」を生きることに意味があるということでしょう。聖フィリピンは失敗にも動じません。「神を喜ばせることだけを望んでいる人は、たとえ失敗の最中であっても平和でいられます。なぜなら、神は私たちの成功を求めているのではないからです」としています。結果にかかわらず、今を一所懸命に生きることが神の望まれていることと聖フィリピンは確信しています。

ふり振り返りは過去にこだわるのではなく、今をより良く活かすものです。なにごとにも誠実、一所懸命に取り組んだかどうかを大事にします。そして、やはり聖フィリピンはことばより行いの人です。「ことばよりも生活の模範によって人に教えなさい。模範が一番の教えです」と語っています。

夏休みの生活にも、お子さんのふり振り返りが活かされると実り多いものとなるでしょう。一所懸命ということは、その場限りではできません。ていねいに取り組む、落ち着いた時間をもつなどが欠かせません。

初等科ではSDG sについても意識しながら生活してきました。ご家庭でも何かSDG sに関して家族で取り組めるものをどうぞみつけてください。水や電灯、レジ袋、リサイクル・・・身近なところでSDG sのきっかけがみつけれられます。そして、夏休みの読書にアメリカの開拓時代や先住民が登場する物語を加えていただき、ぜひ聖フィリピンへの親しみも深めてください。



7月の予定

2日(月) ハイチデー①
1年・転入・編入生保護者会
2日(月)～6日(金) 2～4年水泳
3日(火) 1・5・6年生午後家庭学習
(私学半日研修)
4日(水) 4年保護者会
10日(火) 面接日① 午前授業
11日(水) 面接日② 午前授業
12日(木) 面接日③ 午前授業
13日(金) 7月の会・大掃除

9月の予定 (前半)

3日(月) 9月の会 午前授業
4日(火)～7日(金) 6年校外学習
5日(水) 母の会代表幹事会
6日(木) 5年まとめのテスト①
8日(土) 学校説明会
10日(月) 1年・転入・編入生保護者会
10日(月)～14日(金) 1年水泳
11日(火) 5年美術館見学
12日(水)～14日(金) 4年校外学習

※8月31日(金) 6年生登校

考えて 丁寧に 感謝の気持ちをもって行動する。

副校長 大島 久幸

〈5年 清里校外学習〉

6月5日～8日の3泊4日で、清里へ校外学習に行ってきた。2日目は、雨が降り予定を少し変更しましたが、それ以外は、ほとんど予定通りに活動することができました。

1日目、恐る恐る田んぼの中に足を入れて始めた田植えですが、暫くすると慣れて、腰を落として手際よく苗を植えられるようになってきました。

子どもたちは、楽しみながらも田植えの大変さ、農家の皆さんのご苦勞を知ることができたとともに感謝の気持ちをもつことができました。田植え後の移動の車中から見た田んぼを見て「すごくきれいに植わっている。私たちのとは違う」と感嘆の声が多くありました。田植えを体験したからこそ

2日目と3日目は、6つのグループに分かれレンジャーの皆さんと森の中に入り「道草ハイク」、※1「十字架の道行き」、※2「ア・ピース・オブ・フォレスト」を体験しました。

今回の校外学習では、例年より少しスケジュールにゆとりをもたせました。子どもたちが時間に追われて生活するのではなく、自分たちで時間を意識して活動させたいと考えたからです。

その結果、かなりの部分で5分前行動をすることができました。

これは、子どもたちの自信になり、これからの生活に大いに役立つ経験となったと思います。

※1 アンデレ教会のすぐ横に「十字架の道」があり、その道に、それぞれ違った形をした14のキリスト像が置かれています。その14カ所で祈りを捧げながら歩みます。

※2 種子から芽生えたばかりの木は、大きな木の下では、そのまま枯れてしまうこともあります。そんな小さな木を大事に拾い上げて、牛乳パックに小さな森を作ります。ひとかけらの森(ア・ピース・オブ・フォレスト)から、森や木の成長、そして命について思いを巡らせます。1年後には、森に戻します。

〈1年生 図画工作〉

聖心を訪問された方々の感想の多くに「文字や作品の丁寧さ」があります。ただ単に、見栄えの良さを追求しているのではなく、心を込めて一つ一つに丁寧に取り組むことを大切にしていることの結果ではないかと考えています。

1年生の教室前の掲示板に魚の絵が貼られています。

一日学校参観にお越しになられた方には、ご覧いただけかと思います。鱗1つ1つをクレヨンでしっかり塗ってあり、色むらや色かはみだしているものは殆どありません。1年生ながらに、集中して心を込めて塗った成果です。このような、小さいことの積み重ねで段々と聖心の子どもになっていくのだと考えています。

～ありがとうございました～

去る6月16日に行われた聖心女子大学災害支援チャリティデーでは、多くの方々にご来場いただき、収益は1,080,028円となりました。これらは聖心女子大学および姉妹校が主催する復興支援を中心とした活動の資金として、被災地に還元されるとともに、社会的ニーズに即して活用されます。

今年は、初等科手話クラブが中高手話サークルとともに公演を行いました。被災された弱い立場にある方たちに心を寄せる一方、聖フィリピン・デュシェーンの渡米200年の記念の年として、手話でこの聖人について会場の方々へ紹介することもできました。

当日は、聖心大の学生・教職員を中心に、姉妹校、卒業生、聖心会、学校法人本部等が一同に会して、聖心スピリットのもとで復興支援のために結ばれた一日となりました。ありがとうございました。



【田植え】



【ア・ピース・オブ・フォレスト】



【虹色の魚】